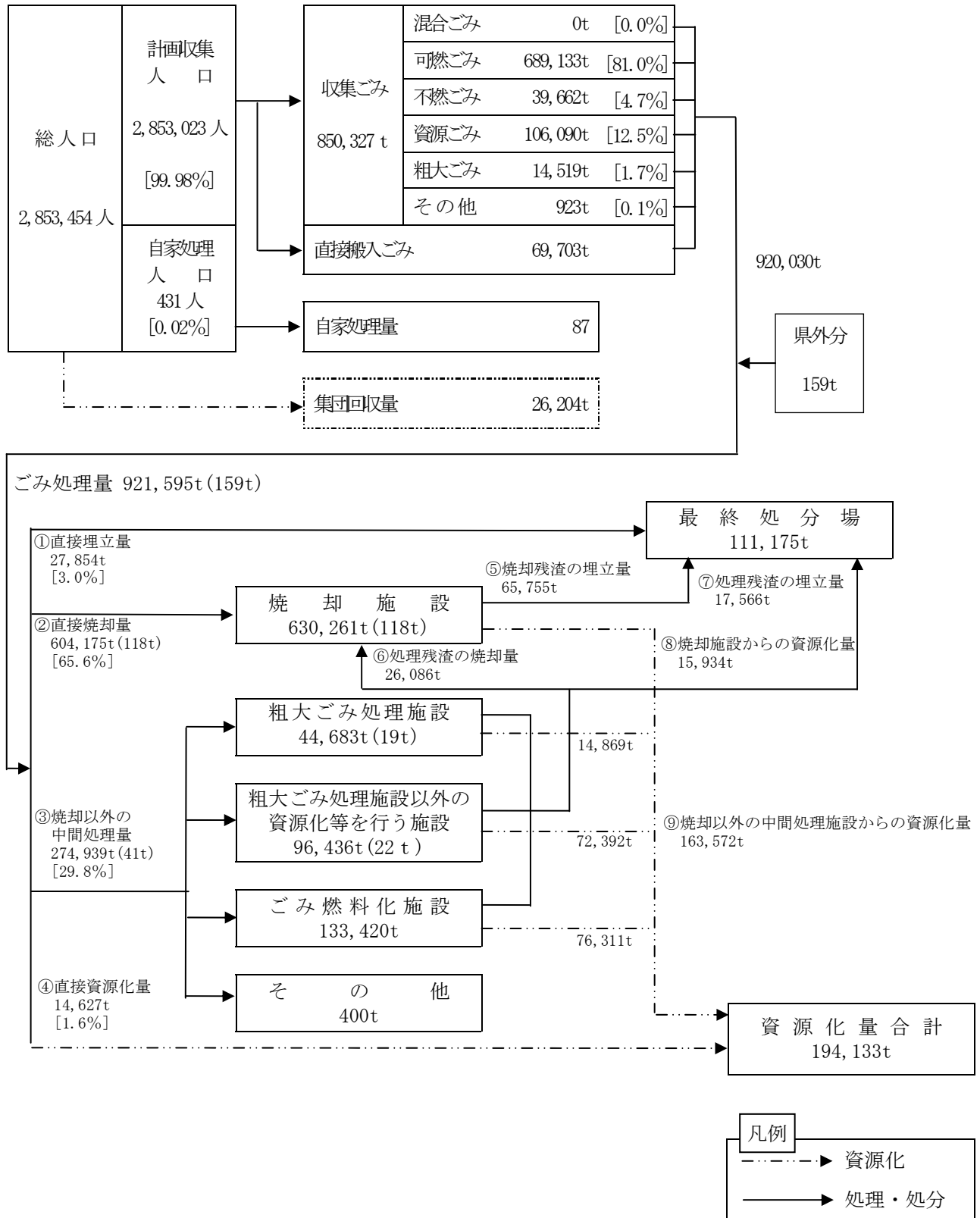


# II ご み



# 1 概要

平成 23 年度におけるごみ処理フローシートは、図 2-1 のとおりである。



(注) 県外分とは、愛媛県今治市からの受託分であり、( )内の量は県外分の内数である。  
計量値の差や水分の蒸発などの理由により、排出量と処理量は一致しない。

図 2-1 ごみ処理フローシート

## 2 処理人口、分別状況及び収集処理手数料

### (1) 処理人口

ごみ処理人口の推移は、表2-1及び図2-2のとおりである。自家処理人口は、平成18年度以降ほぼ横ばいで推移している。

表2-1 ごみ処理人口の推移

(単位：人)

区 分 年 度	計画収集人口 (A)	自家処理人口 (B)	計画処理区域内人口 (A+B)
19	2,868,419	580	2,868,999
20	2,863,651	589	2,864,240
21	2,860,449	537	2,860,986
22	2,857,361	489	2,857,850
23	2,853,023	431	2,853,454

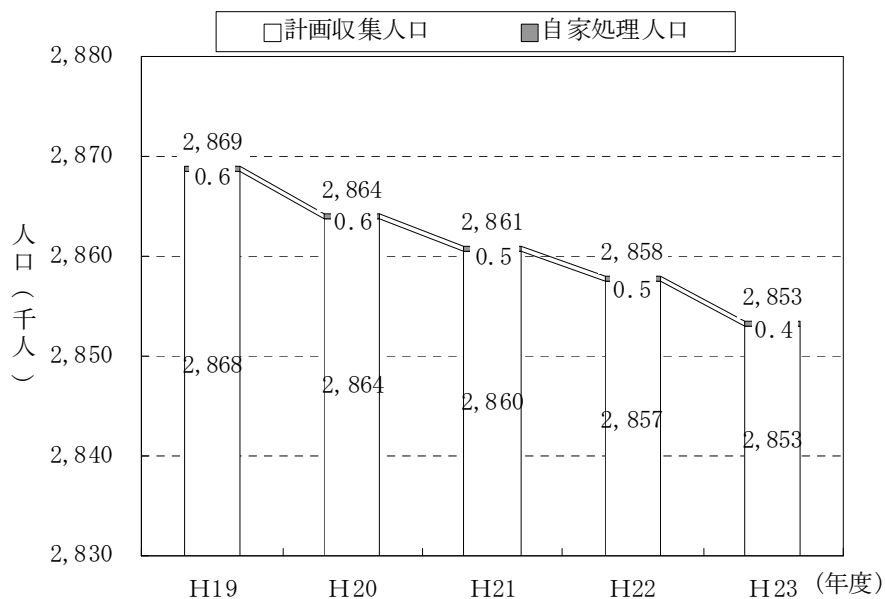
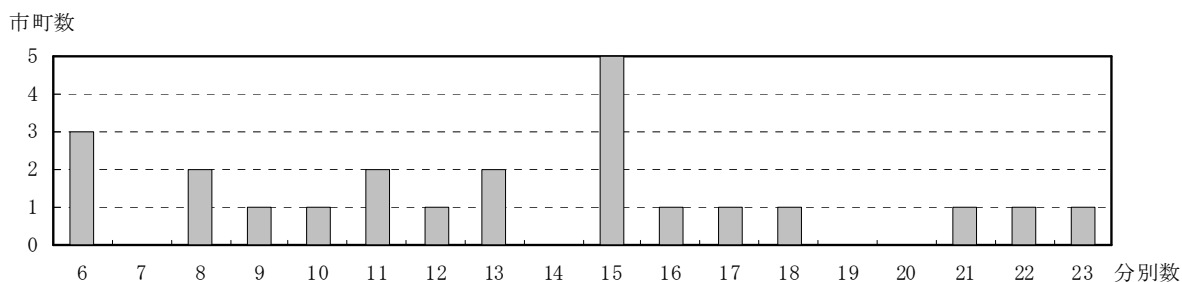


図2-2 ごみ処理人口の推移

### (2) 分別状況

各市町におけるごみの分別収集の状況は、図2-3のとおりである。可燃、不燃、資源、粗大などと大きく分類した6種類分別から、資源ごみを容器包装リサイクル法対象品目などに細分類した23種類分別となっている。

ごみの資源化を促進するため、分別収集の取組が進められている。



(注) 分別数は、排出者がごみを排出する際に分ける必要のある数を計上している。例えば、資源ごみとして缶、びん、ペットボトルを分けて収集している場合、資源ごみの分別数は3を計上する。

図2-3 各市町における分別収集の状況

### (3) 収集処理手数料

各市町の生活系ごみ収集処理の有料化状況は、表2-2のとおりである。

平成23年度末の時点で生活系ごみの収集処理を有料化している市町は、23市町のうち、可燃ごみが11市町、不燃ごみが8市町、粗大ごみが10市町である。また、排出者が直接搬入する生活系ごみについては、可燃ごみが8市町、不燃ごみが7市町、粗大ごみが10市町である。

事業系ごみについては、多くの場合、収集許可業者が排出者から収集して処理施設に搬入する形態であるが、許可業者が処理施設に搬入する際に市町が手数料を徴収する場合も含め、事業系ごみの処理を有料化している市町は、可燃ごみが20市町、不燃ごみが15市町、粗大ごみが14市町である。

表2-2 市町のごみ収集処理の有料化状況

(単位：市町)

区 分		可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ (紙類の状況)	粗大ごみ	そ の 他	
有 料 化 市 町 数	生活系	収集ごみ	11	8	3	10	5
		直接搬入	8	7	3	10	5
	事業系	収集ごみ	20	15	9	14	10
		直接搬入	23	18	13	19	10

- (注) 1 有料化とは、市町等がごみ収集処理についての手数料を徴収する行為を指す。なお、手数料を上乗せせずに販売される一定規格のごみ袋（指定袋）の使用を排出者に依頼する場合には、有料化に該当しない。
- 2 直接搬入とは、排出者が直接処理施設に持ち込む場合を指す。
- 3 事業系ごみについて、収集許可業者が処理施設に搬入する際に市町等が手数料を徴収する場合は、収集ごみの有料化として取扱う。
- 4 有料化でない市町については、手数料を徴収しない場合と、市町において当該区分を収集しない場合がある。

市町別計画処理区域内人口、ごみの分別、収集運搬及び手数料の状況は、IV資料編の資料一表7及び表8に示すとおりである。

### 3 排出量

#### (1) 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量

収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移は、表2-3のとおりである。

表2-3 収集形態別収集量、直接搬入ごみ量及び自家処理量の推移

(単位：t/年)

区分 年度	収集形態別収集量				直接搬入 ごみ	排出量 合計	自家 処理量	自家処理量を 含めた排出量
	直 営	委 託	許 可	計				
19	243,931	361,643	307,243	912,817	86,656	999,473	122	999,595
20	229,735	354,097	292,438	876,270	76,821	953,091	192	953,283
21	221,754	351,894	285,177	858,825	77,571	936,396	543	936,939
22	204,292	348,553	287,019	839,864	74,141	914,005	106	914,111
23	204,451	353,912	291,964	850,327	69,703	920,030	87	920,117

(注) 県外分は含まない。

#### (2) 1人1日当たりのごみ排出量

1人1日当たりのごみ排出量の推移は、表2-4及び図2-4のとおりである。1人1日当たりのごみ排出量は、平成13年度以降継続的に減少していたが、平成23年度は増加した。また、全国平均と比較して低い値となっている。

表2-4 1人1日当たりのごみ排出量の推移

(単位：g/人・日)

年 度	19	20	21	22	23	全国平均 (平成22年度)
1人1日平均排出量	952	912	897	876	881	918

(注) 1人1日当たりの排出量 = (排出量 (g)) / (計画収集人口 × 365 又は 366 日)

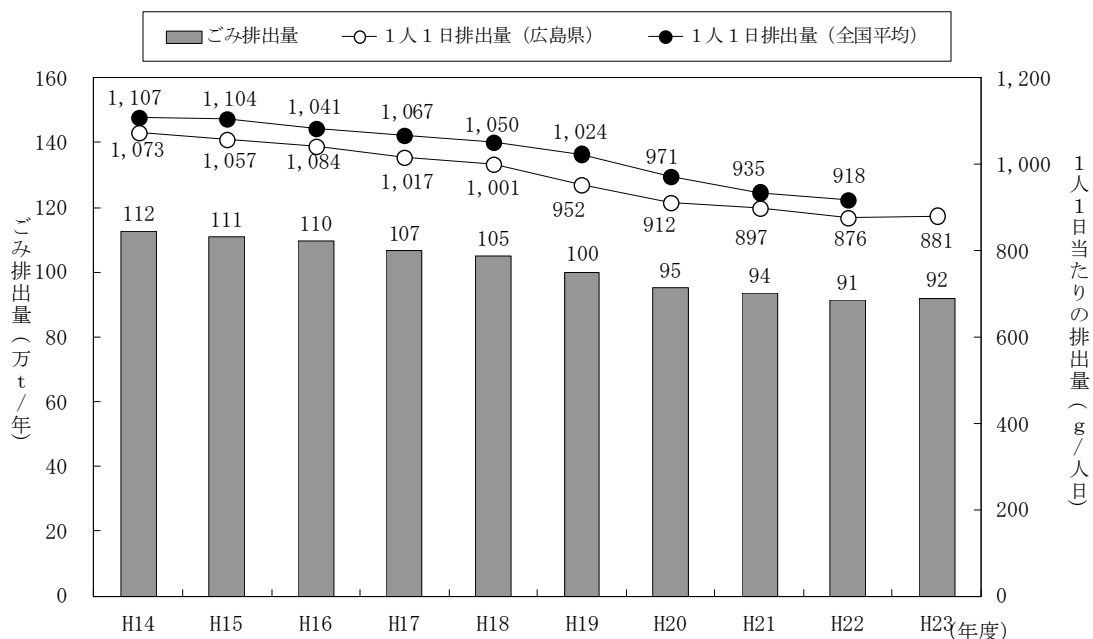


図2-4 ごみ排出量と1人1日当たりの排出量の推移

### (3) 生活系及び事業系ごみの排出量

生活系及び事業系ごみの排出量の推移は、表 2-5 のとおりである。平成 23 年度は前年度と比べ、生活系ごみは増加し、事業系ごみは横ばいで前年度とほぼ同じ値となっている。

表 2-5 生活系及び事業系ごみの排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	19	20	21	22	23
生活系ごみ	628,704	607,683	603,493	581,838	587,595
事業系ごみ	370,769	345,408	332,903	332,167	332,435
合計(排出量)	999,473	953,091	936,396	914,005	920,030

(注) 県外分は含まない。

### (4) 集団回収量

生活系ごみのうち、古紙類、空き缶など直接資源化が可能なものについては、市町等によるごみ収集処理を経ずに、自治会などの住民団体による集団回収により収集され、資源化されている。

平成 23 年度における集団回収量(集団回収のうち、市町等が関与し把握しているものの量をいう。以下同じ。)は、26,204t であり、集団回収量を加味したごみの排出量は、946,234t(1人1日当たり 906g)である。

集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移は、表 2-6 のとおりである。

表 2-6 集団回収量及び集団回収量を加味した排出量の推移

(単位：t/年)

年 度	19	20	21	22	23
集団回収量	28,403	28,264	27,248	27,305	26,204
集団回収量を 加味した排出量	1,027,876	981,355	963,644	941,310	946,234
生活系	657,107	635,947	630,741	609,143	613,799
事業系	370,769	345,408	332,903	332,167	332,435
集団回収量を加味した 1人1日あたりの排出量 (g/人・日)	979	939	923	902	906

(注) 1 集団回収量は、市町等が関与し回収量を把握しているものについて計上している。

2 集団回収量を加味した排出量 = (収集量) + (直接搬入量) + (集団回収量)

3 生活系・事業系の内訳において、集団回収量は生活系として計上した。

※ 国が公表する全国集計では、平成 17 年度分の公表時から、集団回収量を加味した排出量を「ごみ総排出量」と位置づけている。

市町別の収集量、直接搬入ごみ量、自家処理量、集団回収量及び収集形態別収集量は、IV資料編の資料一表 9 及び表 10 に示すとおりである。

## 4 処理量

### (1) 処理量の推移

平成 23 年度における県内のごみ処理量は 921,595 t（愛媛県今治市からの受託分 159t を含む。）で、その内訳は、直接埋立量が 27,854t（3.0%）、直接焼却量が 604,175t（65.5%）、焼却以外の中間処理量が 274,939t（29.8%）、直接資源化量が 14,627t（1.6%）である。

以上の処理量の推移は、表 2-7 及び図 2-5 のとおりである。

表 2-7 ごみ処理量の推移

（単位：t/年）

年 度	直接埋立量	直接焼却量	焼却以外の中間処理量	直接資源化量	合 計
19	36,325	648,262	299,689	15,448	999,724
20	32,986	624,956	280,166	15,124	953,232
21	36,876	611,092	273,807	14,766	936,541
22	27,392	597,567	274,057	14,979	913,995
23	27,854	604,175	274,939	14,627	921,595

（注） 1 数値には県外からの受託分を含む。

2 可燃ごみを焼却施設へ運搬するために圧縮処理するものは、直接焼却量に含む。

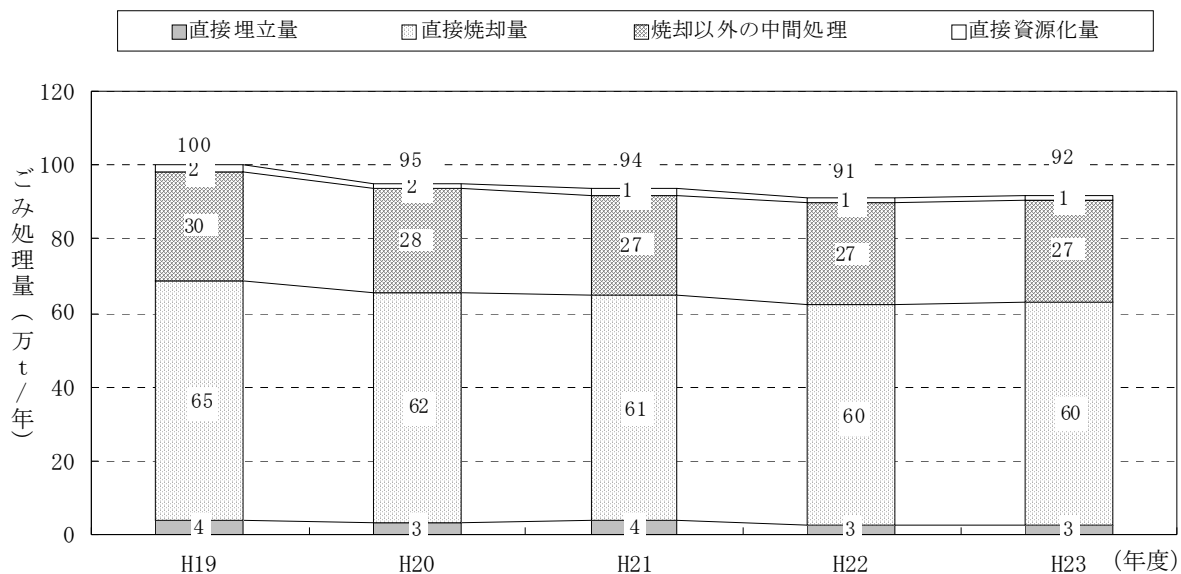


図2-5 ごみ処理量の推移



## (2) 処理方法別の処理量の推移

ごみ処理量を埋立量、焼却量、資源化量の3種類に分類した場合の量の推移は、表2-8のとおりである。

直接埋立を行っていたごみの分別資源化による減量化、可燃ごみの燃料化処理や焼却残渣の熔融処理、セメント原料化等による資源化などにより、埋立量は大幅に減少している。平成21年度に直接埋立量が増加した要因は、江田島市での災害によるものである。

また、焼却量についても、可燃ごみの燃料化処理の本格的な稼働により、平成16年度以降、大幅に減少している。

市町別の処理方法別の処理量は、IV資料編の資料一表11に示すとおりである。

表2-8 埋立量、焼却量及び資源化量の推移

(単位：t/年)

区 分		年 度				
		19	20	21	22	23
埋立量	①直接埋立量	36,325	32,986	36,876	27,392	27,854
	⑤焼却残渣の埋立量	65,781	55,880	53,836	53,597	65,755
	⑦処理残渣の埋立量	21,147	20,858	20,155	17,229	17,566
	合 計	123,253	109,724	110,867	98,218	111,175
焼却量	②直接焼却量	648,262	624,956	611,092	597,567	604,175
	⑥処理残渣の焼却量	31,075	28,565	27,429	27,632	26,086
	合 計	679,337	653,521	638,521	625,199	630,261
資源化量	④直接資源化量	15,448	15,124	14,766	14,979	14,627
	⑧焼却施設からの資源化量	18,685	20,456	24,145	23,762	15,934
	⑨焼却以外の中間処理施設からの資源化量	182,416	168,166	164,476	163,308	163,572
	合 計	216,549	203,746	203,387	202,049	194,133

(注) 1 県外からの受託分を含む。

2 区分欄の番号は、7ページのごみ処理フローシートの番号と同一である。

## 5 ごみ処理施設の整備状況と処理実績

### (1) 施設整備状況

本県におけるごみ処理施設の整備状況は、表2-9のとおりである。

平成23年度中に稼働実績がある焼却施設は、全部で26施設あり、固定火格子バッチ燃焼式が1施設、機械化バッチ燃焼式が7施設、准連続燃焼式が8施設、全連続燃焼式が10施設ある。資源化等を行う施設は28施設、粗大ごみ処理施設は14施設、燃料化処理施設は7施設、保管施設は34施設ある。

表2-9 ごみ処理施設の施設数及び処理能力の推移

区 分		年 度				
		19	20	21	22	23
焼 却 施 設	固定バッチ式 (施設数)	1	1	1	1	1
	能力 (t/日)	26	26	26	26	26
	機械化バッチ式 (施設数)	7	7	7	7	7
	能力 (t/日)	164	164	164	164	164
	准連続式 (施設数)	8	8	8	8	8
	能力 (t/日)	584	604	604	604	604
	全連続式 (施設数)	11	10	10	10	10
	能力 (t/日)	2,395	2,195	2,120	2,195	2,195
	計 (施設数)	27	26	26	26	26
	能力 (t/日)	3,169	2,989	2,914	2,989	2,989
資源化等を行う施設 (施設数)	29	30	29	27	28	
能力 (t/日)	612	635	620	589	596	
粗大ごみ処理施設 (施設数)	14	14	14	14	14	
能力 (t/日)	401	401	401	399	399	
燃料化処理施設 (施設数)	7	7	7	7	7	
能力 (t/日)	550	550	550	550	550	
保管施設 (施設数)	32	34	35	34	34	
能力 (m <sup>2</sup> )	13,878	14,353	14,542	15,637	16,021	
合 計 (施設数)	109	111	111	108	109	
能力 (t/日)	4,732	4,575	4,485	4,527	4,534	
能力 (m <sup>2</sup> )	13,878	14,353	14,542	15,637	16,021	

(注) 1 各年度中に稼働実績がある施設を計上している。

2 焼却施設の区分は次のとおりである。

- ・固定バッチ式 … 固定された火格子により間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・機械化バッチ式 … 固定バッチの一部を機械化し間欠焼却を行う方式で、1日8時間稼働。
- ・准連続式 … 連続焼却を行う方式で、1日16時間稼働。
- ・全連続式 … 連続焼却を行う方式で、24時間連続稼働。

※ 連続焼却方式：ごみの供給、移動・攪拌、焼却灰の排出等が連続的に機械装置で運転管理できる施設。

### (2) 処理実績

本県におけるごみ処理施設（焼却施設・資源化施設・粗大ごみ処理施設・燃料化処理施設・保管施設）の位置図は、図2-6から図2-8、処理実績等の一覧表は、表2-10から表2-14のとおりである。

**【凡 例】**

○ 1 ～ ○ 26 : 施設番号 (焼却施設)

□ 1 ～ □ 7 : 施設番号 (燃料化処理施設)

組合名 : 一部事務組合構成区域

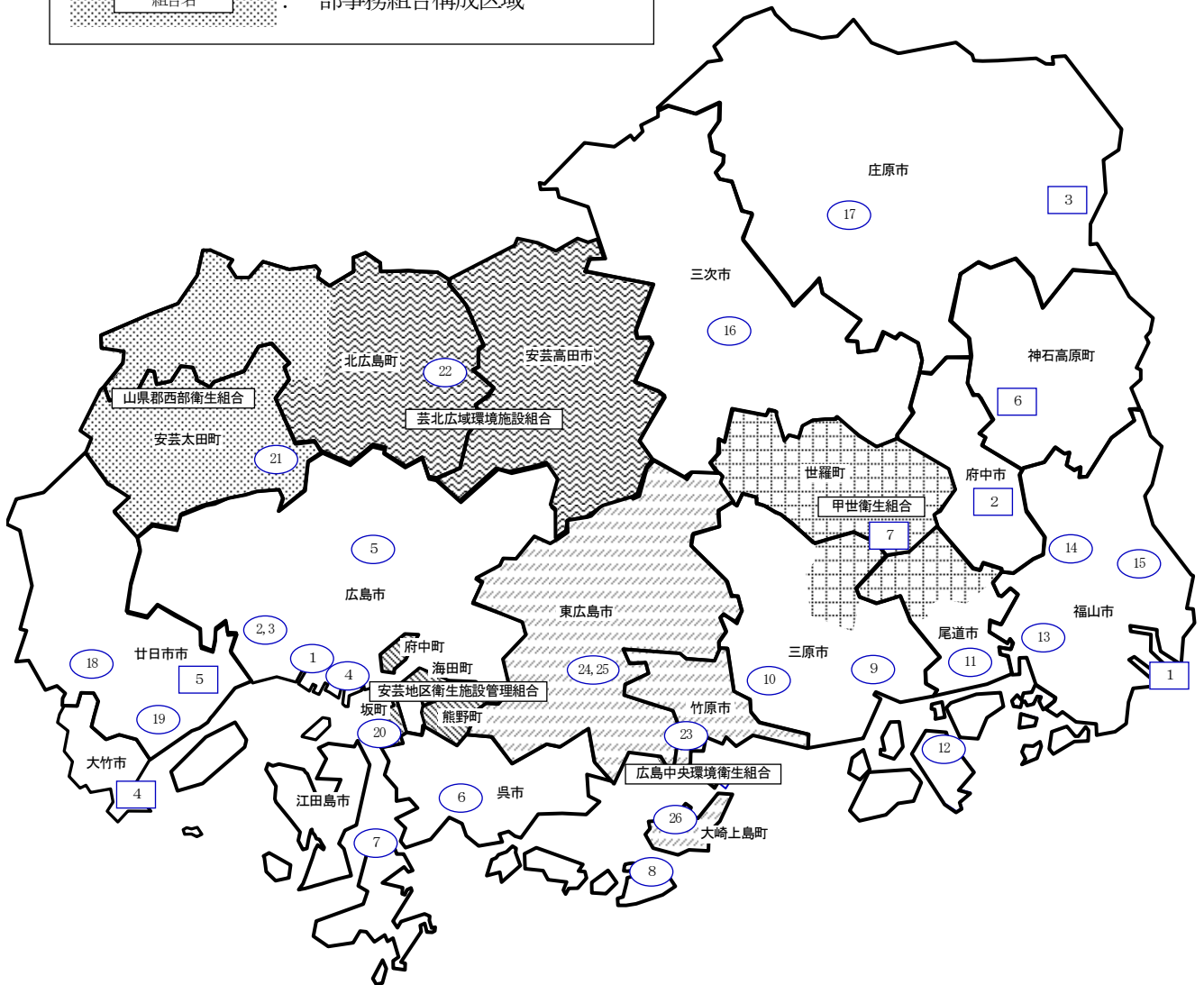


図 2 - 6 焼却施設及び燃料化処理施設の位置図  
(平成 23 年度末現在)

【凡 例】

○ 1 ～ ○ 28 : 施設番号 (資源化施設)

□ 1 ～ □ 14 : 施設番号 (粗大ごみ処理施設)

組合名 : 一部事務組合構成区域

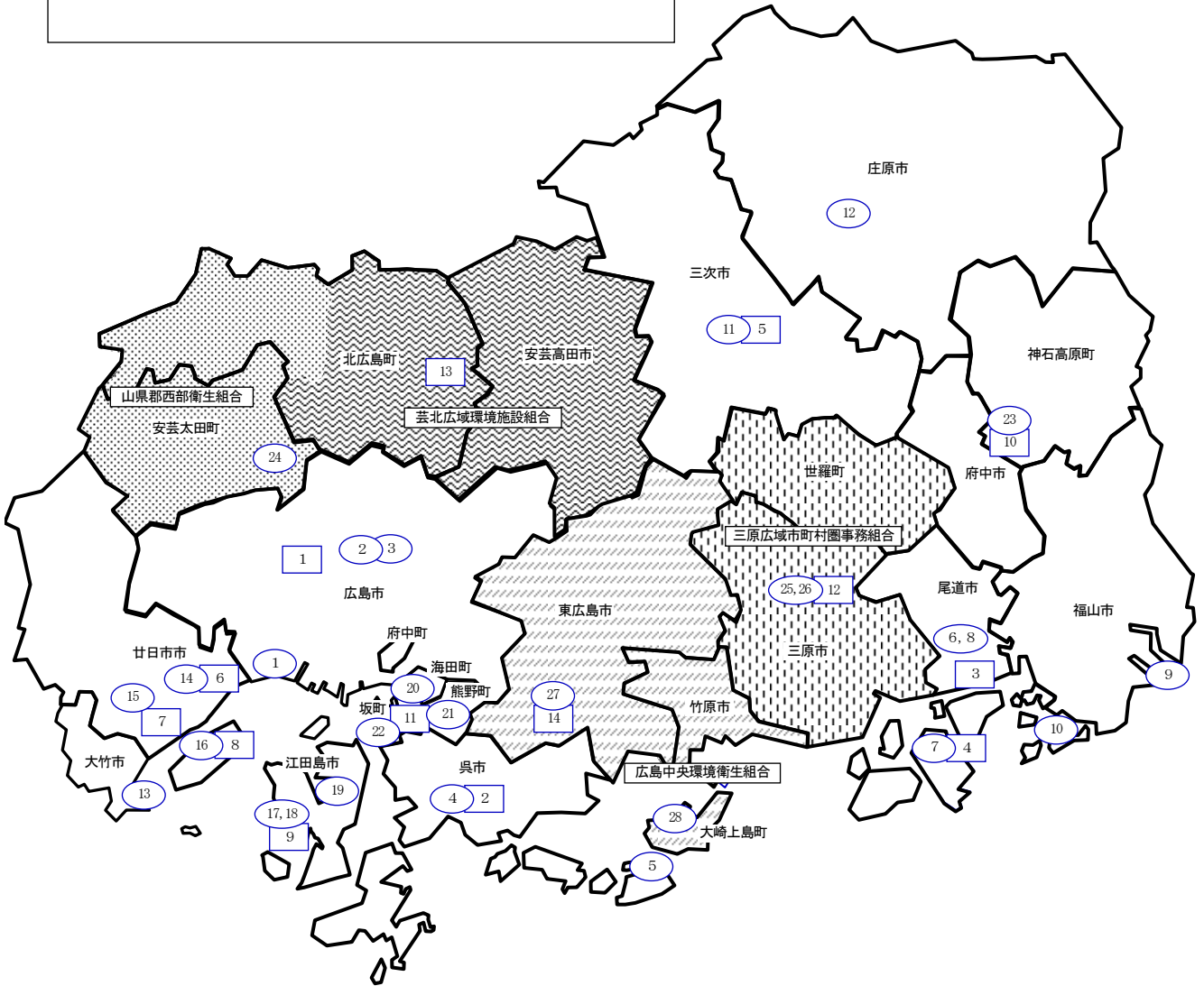


図 2 - 7 資源化施設及び粗大ごみ処理施設の位置図  
(平成 23 年度末現在)

**【凡例】**

○ 1 ~ ○ 34 : 施設番号 (保管施設)

組合名 : 一部事務組合構成区域

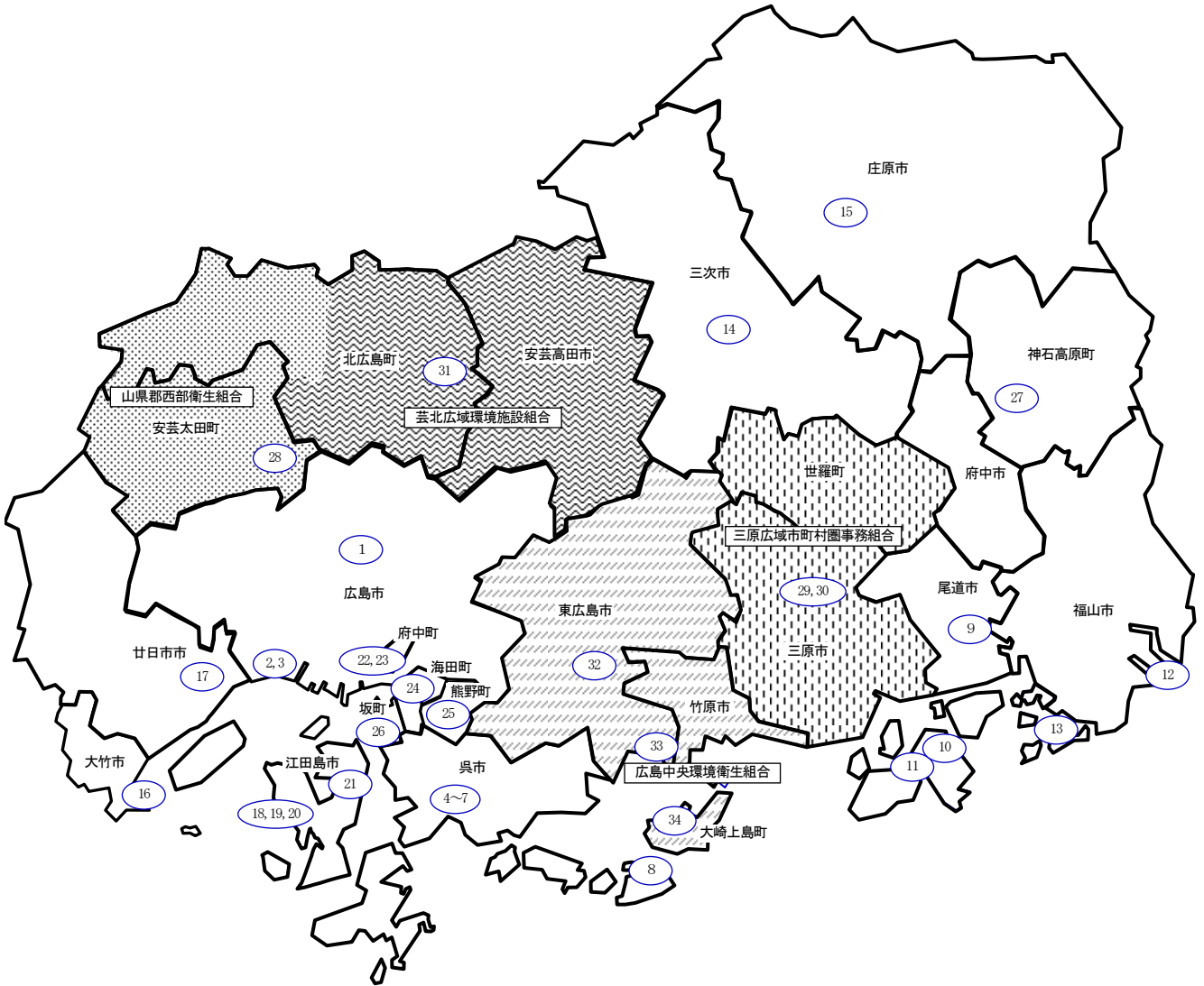


図 2 - 8 保管施設の位置図  
(平成23年度末現在)



表2-10 焼却施設及び処理実績等一覧表

施設番号	処理方式	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	処理対象							公称能力 (t/日)	基数 (基)	年間処理量 (t/年度)	余熱利用の状況	資源化量 (t/年度)	発電能力 (kW)	発電効率 (%)	総発電量 (MWh)	灰処理設備		施設改廃等	運転管理体制
						混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	処理残さ	その他									焼却	飛灰		
1	全	広島市	広島市中区南吉島一丁目4-2	広島市中工場	2003	○					○		600	3	155,440	場内温水 場内蒸気 場外温水 発電(場内利用, 場外利用)	1,239	15,200	12	51,448	熔融処理 その他	熔融処理 その他	変無	委託
2	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場(1系)	1980	○						45	1	3,126	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	委託	
3	全	広島市	広島市佐伯区五日市町石内1979	広島市佐伯工場(2・3系)	1984	○						90	2	17,719	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	委託	
4	全	広島市	広島市南区東雲三丁目17-1	広島市南工場	1988	○					○	300	2	61,752	場内温水 場内蒸気 場外蒸気 場外温水 発電(場内利用, 場外利用)	0	1,400	8	9,388	薬剤処理	薬剤処理	変無	委託	
5	全	広島市	広島市安佐北区可部町中島1460-1	広島市安佐北工場	1990	○					○	200	2	53,482	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用, 場外利用)	0	1,100	6	5,804	薬剤処理	無し	変無	委託	
6	全	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ(第3工場)	2002	○						380	3	72,656	場内温水 場外温水 発電(場内利用, 場外利用)	581	7,000	14	28,856	熔融処理	セメント固化 薬剤処理	変無	委託	
7	機	呉市	呉市音戸町渡子一丁目5-25	日附環境美化センター	1995	○						31	2	4,512	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	直営	
8	機	呉市	呉市豊町大長6329-1	芸予環境衛生センター(ごみ処理施設)	1997	○		○	○			7	1	1,106	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	直営	
9	准	三原市	三原市八坂町227	三原市清掃工場	1999	○					○	120	2	32,912	場内温水	0				その他	セメント固化 薬剤処理	変無	一部委託	
10	固	三原市	三原市本郷町本郷543-1	三原市本郷清掃工場	1993	○					○	26	2	0	利用無し	0				無し	薬剤処理	廃止	委託	
11	准	尾道市	尾道市長者原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994	○					○	120	2	33,402	場内温水 場外温水	0				薬剤処理	薬剤処理	変無	委託	
12	准	尾道市	尾道市重井町5334	尾道市因瀬クリーンセンター	1990	○					○	50	2	9,676	場内温水 場外温水	0				薬剤処理	薬剤処理	変無	直営	
13	全	福山市	福山市赤坂町赤阪521	福山市新西部清掃工場	1980	○						150	2	22,274	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	一部委託	
14	機	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター	1994	○						30	2	4,792	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	一部委託	
15	准	福山市	福山市神辺町上御領3000-7	福山市深品クリーンセンター	1994	○					○	80	2	15,580	場内温水	0				薬剤処理	薬剤処理	変無	委託	
16	准	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996	○					○	60	2	11,676	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	委託	
17	機	庄原市	庄原市一木町境ヶ谷266-2	庄原市備北クリーンセンター	2001	○					○	40	2	6,208	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	直営	
18	機	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯クリーンセンター	1999	○						15	2	2,421	場内温水 場内蒸気	0				無し	薬剤処理	変無	委託	
19	准	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997	○						60	2	8,773	場内温水 場内蒸気	0				無し	セメント固化 薬剤処理	変無	委託	
20	全	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002	○					○	130	2	32,330	場内温水 場内蒸気 発電(場内利用)	1,909	1,300	10	7,930	熔融処理	無し	変無	委託	
21	機	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996	○					○	26	2	1,980	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	直営	
22	准	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 可燃ごみ処理施設	1995	○					○	44	2	10,242	場外温水	0				無し	セメント固化 薬剤処理	変無	一部委託	
23	准	広島中央	竹原市吉名町山租2654	竹原安芸津環境センター	1991	○					○	70	2	10,245	場内温水 その他	0				無し	セメント固化	変無	委託	
24	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター (1号炉, 2号炉)	1985	○					○	150	2	21,871	利用無し	0				無し	薬剤処理	変無	委託	
25	全	広島中央	東広島市西条町上三永766-1	賀茂環境衛生センター (3号炉)	2001	○					○	150	1	34,458	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	委託	
26	機	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991	○					○	15	2	1,921	場内温水	0				無し	薬剤処理	変無	直営	
(注) 1. 処理方式													固 1施設		26	2	0							
「固」固定パッチ, 「機」機械化パッチ, 「准」准連続, 「全」全連続													機 7施設		164	13	22,940							
2. 施設改廃等													准 8施設		604	16	132,506							
「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり													全 10施設		2,195	20	475,108	3,729		26,000	103,426			
													計 26施設		2,989	51	630,554	3,729		26,000	103,426			

表2-11 資源化等を行う施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	処理対象					公称能力 (t/日)	年間処理量 (t/年度)	資源回収量 (t/年度)	処理内容				施設改廃等	運転管理体制	備考
					可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他				選別	圧縮梱包	堆肥化	その他			
1	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997			○		○	90.0	19,083	14,070	○	○			変無	委託	
2	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990			○		○	50.0	10,581	7,190	○	○			変無	委託	
3	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市植木せん定枝リサイクルセンター	1999					○	25.0	925	922			○		変無	委託	
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目9	呉市資源化施設	1998			○			4.0	7,763	7,623	○	○			変無	委託	
5	呉市	呉市豊町大長6329-1	呉市環境衛生センター	1997			○			0.2	192	188	○	○			変無	直営	
6	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-11	尾道市ストックヤードPET減容施設	1999			○			7.0	227	186	○	○			変無	直営	
7	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996			○			4.0	319	319	○	○			変無	委託	
8	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-11	尾道市容器包装プラスチック工場	2011			○			7.2	858	773	○	○			新設	委託	
9	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター(リサイクル工場)	2000		○	○	○		170.0	12,211	6,007	○	○			変無	一部委託	
10	福山市	福山市内海町新道644-1	福山市内海リサイクルセンター	1996		○	○	○		1.6	257	149	○	○			変無	委託	
11	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	2000			○			7.0	763	708	○	○			変無	委託	
12	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005		○	○	○		15.0	2,055	1,459	○	○		○	変無	委託	
13	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理資源化施設	1989		○	○	○		11.0	2,354	1,947	○	○			能変	直営	
14	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001			○			24.0	2,573	2,510	○	○			変無	委託	
15	廿日市市	廿日市市浅原甲524	廿日市市佐伯不燃物処理作業場	2006			○			3.0	329	329	○	○			変無	委託	
16	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島不燃物処理施設	1980		○	○			25.0	18	18	○	○			変無	委託	
17	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ビン・缶)	1998			○			7.0	448	243	○	○			変無	委託	
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ペットボトル)	2002			○			0.35	53	46					変無	委託	
19	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市リレーセンター(可燃ごみ)	2002	○					45.0	7,339	7,339		○			変無	委託	可燃ごみ圧縮施設
20	海田町	海田町国信二丁目18-1	海田町環境センター	1988			○			10.0	113	113	○	○			変無	直営	
21	熊野町	熊野町中溝一丁目1-1	熊野町エコステーション	2001			○			2.0	0	0				○	廃止	直営	
22	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004			○			4.0	612	612	○	○			変無	委託	
23	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006			○			8.0	21	21		○			変無	委託	
24	山県郡西部	安芸太田町加計穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996	○		○	○		9.0	619	606	○	○			変無	直営	
25	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	再資源選別処理場	1993		○	○	○		30.0	2,974	2,974	○				変無	委託	
26	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設(プラスチック圧縮梱包施設)	2006			○			11.0	705	705	○	○			変無	委託	
27	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(ペットボトル等処理施設)	2006			○			22.0	1,770	985	○	○			変無	委託	
28	広島中央	大崎上島町大串19-1	大崎上島環境センター	1991		○	○	○	○	4.0	377	0	○				変無	一部委託	
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり					計 28施設					596.4	75,539	58,042							

表2-12 粗大ごみ処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	種類	市町事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	処理対象					公称能力 (t/日)	年間処理量 (t/年度)	資源回収量 (t/年度)	施設改廃等	運転管理体制	備考	
						可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他							
1	併	広島市	広島市安佐南区沼田町伴3990	広島市安佐南工場大型ごみ破碎処理施設	1992				○		100.0	9,475	1,418	変無	委託		
2	併	呉市	呉市多賀谷三丁目9-2	クリーンセンターくれ(ごみ破碎選別施設)	2002		○		○		55.0	7,440	1,194	変無	委託		
3	併	尾道市	尾道市長原一丁目220-75	尾道市クリーンセンター	1994		○	○	○		35.0	6,191	0	変無	委託		
4	併	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996			○	○		14.0	653	225	変無	委託		
5	併	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996		○	○	○	○	22.0	2,464	962	変無	委託		
6	破	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市粗大ごみ処理施設	1990				○		35.0	1,431	339	変無	委託		
7	併	廿日市市	廿日市市大野1815-24	廿日市市大野清掃センター	1997		○		○		13.0	381	123	変無	委託		
8	破	廿日市市	廿日市市宮島町1171-4	廿日市市宮島粗大ごみ処理施設	1999				○		4.0	33	17	変無	委託		
9	破	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(粗大)	1998				○		8.0	994	213	変無	委託		
10	破	神石高原町	神石高原町階見1254-1	粗大ごみ処理施設	2010		○		○		3.2	41	1	変無	委託		
11	破	安芸地区	坂町1322-8	安芸クリーンセンター	2002				○		6.0	1,692	0	変無	委託		
12	庄	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	2010		○	○	○		50.0	806	806	変無	委託		
13	併	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンター 粗大ごみ処理施設	1996		○	○	○		14.0	1,235	1,004	変無	直営		
14	併	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(粗大ごみ処理施設)	1990		○	○	○	○	40.0	4,596	1,984	変無	委託		
(注) 1. 種類 「破」は破碎, 「庄」は圧縮, 「併」は併用施設						破碎 5施設					56.2	4,191	570				
2. 施設改廃等 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり						圧縮 1施設					50.0	806	806				
						併用 8施設					293.0	32,435	6,910				
						計 14施設					399.2	37,432	8,286				



表2-13 燃料化処理施設及び処理実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	処理対象						供給先の状況	公称能力 (t/日)	年間処理量 (t/年度)	燃料製造量 (t/年度)	施設改廃等	運転管理体制	備考
					可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他	処理残さ							
1	福山市	福山市箕沖町107-7	福山市ごみ固形燃料工場	2004	○					○	発電用	300.0	91,855	53,026	変無	一部委託	
2	府中市	府中市鶴飼町74-2	府中市クリーンセンター	2002	○					○	発電用	60.0	7,690	3,508	変無	委託	
3	庄原市	庄原市東城町久代6671-2	庄原市東城クリーンセンターごみ固形燃料化施設	2002	○						発電用	19.0	1,616	810	変無	直営	
4	大竹市	大竹市東栄3-3	大竹市ごみ固形燃料化施設	2003	○						発電用	42.0	7,151	3,898	変無	委託	
5	廿日市市	廿日市市宮内3860	エコセンターはつかいち	2004	○					○	発電用	102.0	20,518	11,996	変無	委託	
6	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせき	2002	○						発電用	11.0	1,083	498	変無	委託	
7	甲世衛生	世羅町川尻781-19	エコワイズセンター	1998	○					○	発電用	16.0	3,507	1,813	変無	直営	
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり					計 7施設						550.0	133,420	75,549				

表2-14 保管施設及び保管実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	保管対象						保管面積			年間保管量 (t/年度)	保管分類数	施設改廃等	運転管理体制	備考
					紙	金属	ガラス	ペットボトル	プラスチック	その他	屋内 (㎡)	屋外 (㎡)	合計 (㎡)					
1	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬1022	広島市北部資源選別センター	1990	○	○	○			○	1,159	0	1,159	10,581	4	変無	委託	
2	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-2	広島市西部リサイクルプラザ	1997	○	○	○			○	1,215	0	1,215	19,083	4	変無	委託	
3	広島市	広島市西区商工センター七丁目7-1	広島市資源ごみ選別施設	1998				○			84	0	84	189	1	変無	委託	
4	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市缶類資源化施設	2000		○					400	0	400	465	2	変無	委託	
5	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市紙類ストックヤード	2000	○						250	0	250	5,187	4	変無	委託	
6	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市ペットボトルストックヤード	2000				○			200	0	200	380	1	変無	委託	
7	呉市	呉市広多賀谷三丁目地先	呉市カレットストックヤード	1998			○				0	196	196	1,508	3	変無	委託	
8	呉市	呉市豊町大長3629-1	芸予環境衛生センター(ストックヤード)	2002	○		○				140	2,577	2,717	164	7	変無	直営	
9	尾道市	尾道市美ノ郷町三成149-1	尾道市ストックヤード減容施設	1999				○			299	1,774	2,073	186	1	変無	直営	
10	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島リサイクルセンター	1996		○	○			○	233	262	495	544	13	変無	委託	
11	尾道市	尾道市因島重井町5334	尾道市因島クリーンセンター	1990	○			○			42	111	153	1,194	5	変無	直営	
12	福山市	福山市箕沖町107-2	福山クリーンセンター(リサイクル工場)	2000				○	○		288	0	288	4,986	2	変無	一部委託	
13	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場(保管施設)	2001				○	○		36	0	36	27	2	変無	委託	
14	三次市	三次市廻神町1820-12	三次環境クリーンセンター	1996	○	○	○	○	○	○	182	0	182	4,077	8	能変	委託	
15	庄原市	庄原市是松町20-25	庄原市リサイクルプラザ	2005	○	○	○	○	○	○	140	0	140	2,055	9	変無	委託	
16	大竹市	大竹市東栄三丁目4	大竹市不燃物処理場	1989	○	○	○	○	○	○	400	300	700	1,947	6	能変	直営	
17	廿日市市	廿日市市宮内3860	はつかいちリサイクルプラザ	2001	○	○	○	○	○	○	292	0	292	2,510	9	変無	委託	
18	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(カレット)	1998			○				53	0	53	114	3	変無	委託	
19	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(ペットボトル)	2002				○			125	0	125	46	1	変無	委託	
20	江田島市	江田島市沖美町岡大王718-1	江田島市環境センター(鉄・アルミ缶)	2002		○					40	0	40	129	2	変無	委託	
21	江田島市	江田島市江田島町鷺部四丁目1-13	江田島市環境リレーセンター(ストックヤード)	2009	○					○	180	0	180	1,021	3	変無	委託	
22	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町環境センター	1981	○	○	○			○	72	112	184	1,281	7	変無	直営	
23	府中町	府中町八幡四丁目1-1	府中町リサイクルセンター	1999	○			○	○		273	0	273	83	3	変無	委託	
24	海田町	海田町国信二丁目18-1	海田町環境センター	1988	○	○	○	○		○	138	50	188	1,158	5	変無	直営	
25	熊野町	熊野町深野平2682-73	熊野町環境センターストックヤード	2006	○	○	○	○	○	○	574	0	574	1,543	8	変無	委託	
26	坂町	坂町2430	リサイクルセンター坂	2004	○	○	○	○		○	242	0	242	612	12	変無	一部委託	
27	神石高原町	神石高原町階見1254-1	クリーンセンターじんせきストックヤード	2006		○	○				150	0	150	57	4	変無	委託	
28	山県郡西部	安芸太田町大字穴黒峠	ポックルくろだおクリーンセンター	1996	○	○	○	○	○	○	412	0	412	606	6	変無	直営	
29	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	不燃物処理工場	1974		○	○	○		○	189	52	241	2,269	4	変無	委託	
30	三原広域	三原市久井町坂井原1358-82	廃棄物再生利用施設(プラスチック圧縮梱包施設)	2006					○		34	0	34	705	1	変無	委託	
31	芸北広域	北広島町川井字津々羅谷1080-18	芸北広域きれいセンターストックヤード施設	2002	○			○	○		105	21	126	133	3	変無	直営	
32	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター	1990		○	○			○	212	0	212	2,557	4	変無	委託	
33	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場	1995	○	○		○	○	○	272	1,428	1,700	1,870	12	変無	委託	
34	広島中央	大崎上島町沖浦106-10	沖浦古紙ストックヤード	2006	○						707	0	707	532	3	変無	委託	
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり					計 34施設						9,138	6,883	16,021	69,799				

## 6 最終処分場の整備状況と埋立実績

### (1) 整備状況

市町及び一部事務組合における最終処分場の状況は、表2-15のとおりである。

過去3年間における埋立実績の平均から推計すると、約22年分の残余容量がある。

新たな最終処分場の整備については、住民合意が得られにくいなどの問題により、整備が難しいことから、ごみの減量化及び資源化を一層促進して残余容量の確保を図るとともに、処分場の計画的な整備を行う必要がある。

表2-15 最終処分場の状況

最終処分場数				埋立地面積 (m <sup>2</sup> )	全体容量 (m <sup>3</sup> )	残余容量 (m <sup>3</sup> )	埋立実績 (m <sup>3</sup> /年)	残余年数 (年)
山間	平地	海面	計					
22	5	1	28	955,373	8,999,131	2,469,373	118,063	22

(注) 1 最終処分場の区分は次のとおりである。

- ・山間 … 山間の谷間（空間）を利用した最終処分場。
- ・平地 … 陸上の平地を掘削して設置された最終処分場。
- ・海面 … 水面部に設置された最終処分場のうち、海面埋立のもの。

2 最終処分場の容量の残余年数は、次のとおり算出した。

埋立実績：平成21年度 122,336m<sup>3</sup>、平成22年度 101,675m<sup>3</sup>、平成23年度 118,063m<sup>3</sup>

過去3年間の平均埋立量：(122,336m<sup>3</sup> + 101,675m<sup>3</sup> + 118,063m<sup>3</sup>) / 3年 = 114,025m<sup>3</sup>

残余年数：2,469,373m<sup>3</sup> / 114,025m<sup>3</sup> = 21.7年

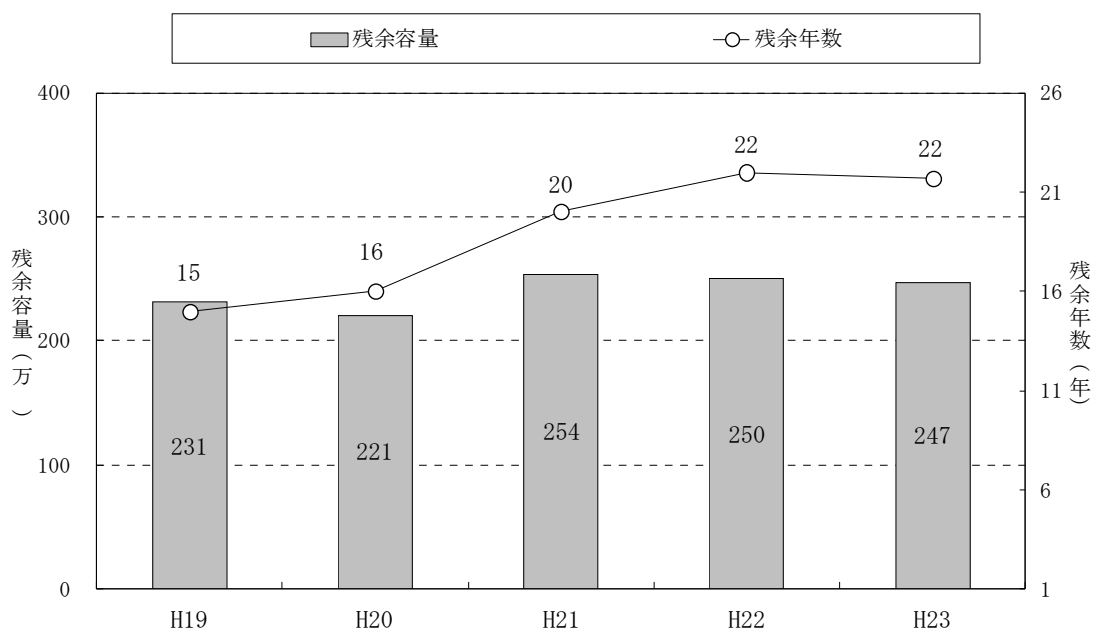


図2-9 残余容量及び残余年数の推移

### (2) 埋立実績

本県における最終処分場の位置図は図2-10、埋立実績等の一覧表は表2-16のとおりである。

**【凡 例】**

○ 1 ~ ○ 28 : 施設番号 (最終処分場)

● : (財) 環境保全公社の施設

組合名 : 一部事務組合構成区域

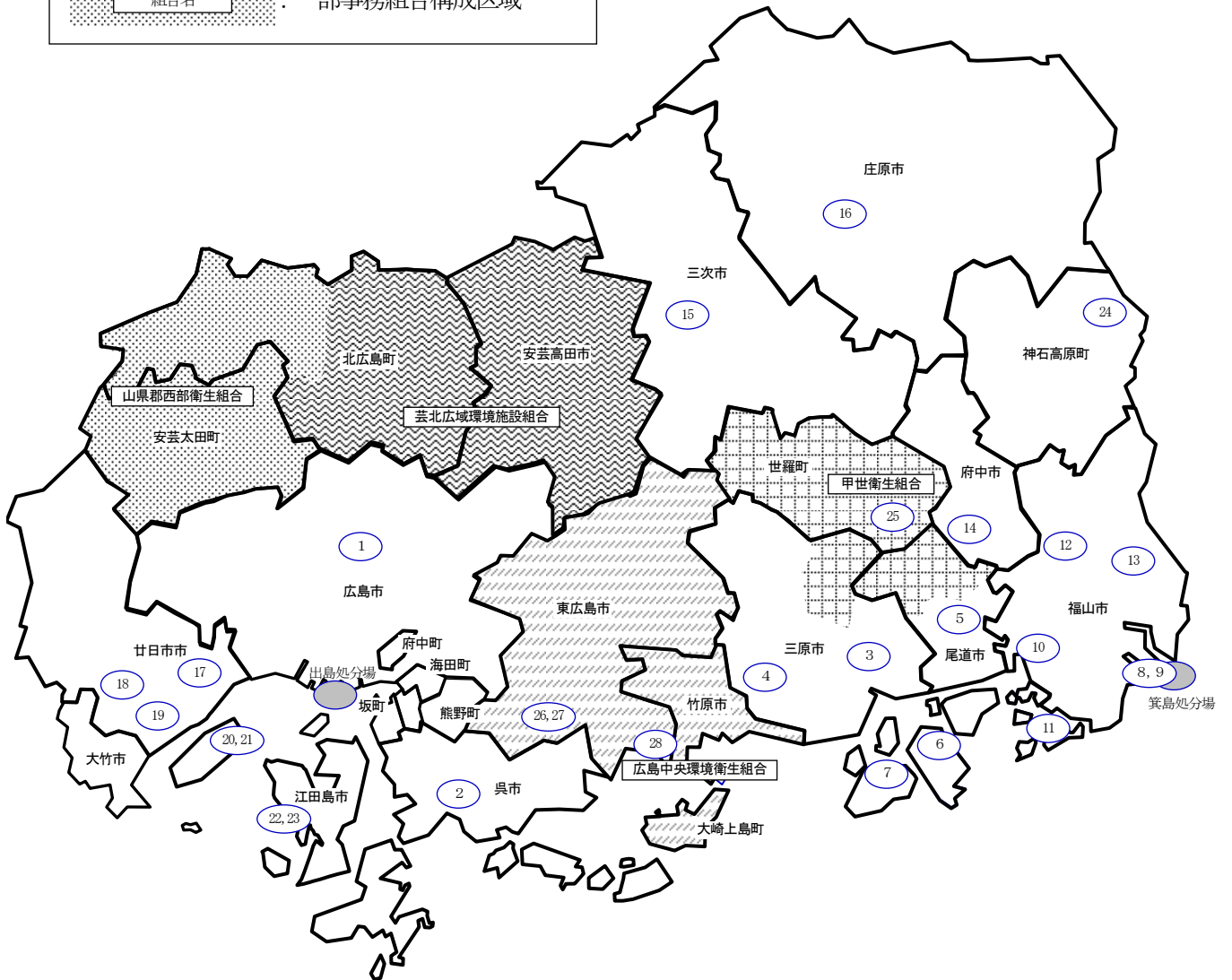


図 2 - 10 最終処分場の位置図  
(平成23年度末現在)

表2-16 最終処分場及び埋立実績等一覧表

施設番号	埋立場所	市町村事務組合名	所在地	施設名	埋立開始年度	埋立物						埋立面積 (m <sup>2</sup> )	全体容量 (m <sup>3</sup> )	残余容量 (m <sup>3</sup> )	埋立実績 (m <sup>3</sup> )	埋立終了年度 (予定)	浸出水処理施設	しゅ水工	処分場の現状	施設改廃等	運転管理体制
						可燃	不燃	資源	その他	粗大	処理残さ										
1	山間	広島市	広島市安佐北区安佐町筒瀬2030	広島市玖谷埋立地	1990		○		○	○	○	146,000	3,500,000	920,000	57,600	2019	有	有	埋立中	変無	一部委託
2	海面	呉市	呉市多賀谷地先	呉市埋立処理場	1987						○	184,000	1,003,010	把握していない	5,448	2011	有	有	埋立中	変無	直営
3	山間	三原市	三原市八坂町227	三原市一般廃棄物最終処分場	1998						○	22,000	163,000	77,243	8,958	2023	有	有	埋立中	能変	一部委託
4	山間	三原市	三原市本郷町本郷373	三原市本郷一般廃棄物埋立処分場	1989				○		○	1,627	6,400	0	0	2009	有	有	埋立終了	変無	委託
5	山間	尾道市	尾道市原田町梶山田1909	尾道市最終処分場(原田町)	2002						○	23,000	194,000	153,000	5,011	2017	有	有	埋立中	変無	委託
6	山間	尾道市	尾道市因島大浜町1217-1	尾道市因島一般廃棄物最終処分場	1996		○				○	10,700	80,000	37,717	1,898	2011	有	有	埋立中	変無	委託
7	山間	尾道市	尾道市瀬戸田町名荷2221	尾道市瀬戸田名荷埋立処分地	1991						○	10,100	54,000	39,747	558	2021	有	有	埋立中	変無	委託
8	平地	福山市	福山市箕沖町107-4	福山市新箕沖埋立地	1989				○		○	85,000	628,000	260,766	0	2027	有	有	埋立中	変無	直営
9	平地	福山市	福山市箕沖町107-3	福山市箕沖埋立地	1978				○		○	165,000	1,495,000	133,896	11,505	2023	有	有	埋立中	変無	直営
10	平地	福山市	福山市柳津町2285	福山市慶応浜埋立地	1981				○		○	41,000	155,800	11,852	430	2020	有	有	埋立中	変無	直営
11	山間	福山市	福山市内海町662	福山市内海最終処分場	1994				○		○	3,000	10,700	5,333	19	2030	有	有	埋立中	変無	委託
12	山間	福山市	福山市新市町下安井3328-6	福山市新市クリーンセンター最終処分埋立地	1994		○				○	7,200	60,000	46,865	505	2030	有	有	埋立中	変無	一部委託
13	山間	福山市	福山市神辺町上御領300-13	福山市深品クリーンセンター最終処分場	2000						○	8,700	75,000	51,062	1,727	2035	有	有	埋立中	変無	委託
14	山間	府中市	府中市諸毛町岩後231	府中市埋立センター	1989		○				○	27,800	149,700	57,560	2,907	2026	有	有	埋立中	変無	直営
15	山間	三次市	三次市栗屋町3505	一般廃棄物下荒瀬最終処分場	1993				○		○	57,000	154,000	93,415	1,820	2023	有	有	埋立中	変無	委託
16	平地	庄原市	庄原市是松町20-26	庄原市一般廃棄物最終処分場	2005						○	1,166	7,100	6,018	210	2019	有	有	埋立中	変無	委託
17	山間	廿日市市	廿日市市宮内3860	廿日市市一般廃棄物最終処分場	1992		○				○	18,000	150,000	81,502	1,359	2041	有	有	埋立中	変無	委託
18	山間	廿日市市	廿日市市大野2715-2	廿日市市佐伯一般廃棄物最終処分場	1994		○				○	3,400	11,400	2,957	386	2013	有	有	埋立中	変無	委託
19	山間	廿日市市	廿日市市大野1814-22	廿日市市大野一般廃棄物最終処分場	1994		○	○			○	30,000	221,000	185,408	1,499	2013	有	有	埋立中	変無	委託
20	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦1153-12	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場(現有)	1988						○	5,400	29,800	0	0	2006	無	有	埋立中	変無	直営
21	山間	廿日市市	廿日市市宮島町包ヶ浦1153-12	廿日市市宮島一般廃棄物最終処分場(新設)	2000		○				○	6,700	33,000	28,535	335	2015	有	有	埋立中	変無	一部委託
22	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王718番地1	江田島市環境センター(第1埋立地)	1983		○				○	13,960	151,949	0	0	2009	有	有	埋立終了	変無	委託
23	山間	江田島市	江田島市沖美町岡大王718番地1	江田島市環境センター(第2埋立地)	1994		○				○	15,700	93,000	31,027	968	2020	有	有	埋立中	変無	委託
24	山間	神石高原町	神石高原町有木7170-2	グリーンセンター陽光	2005		○	○			○	1,150	7,600	7,062	161	2019	有	有	埋立中	変無	直営
25	平地	甲世衛生	世羅町川尻781-20	甲世衛生組合最終処分場	1987		○					1,270	3,302	50	13	2015	有	有	埋立中	変無	直営
26	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(1工区)	1990				○		○	22,500	217,370	0	0	2008	有	有	埋立終了	変無	委託
27	山間	広島中央	東広島市黒瀬町国近427-24	賀茂環境センター(2工区)	2006				○		○	12,000	195,000	150,303	10,132	2023	有	有	埋立中	変無	委託
28	山間	広島中央	東広島市安芸津町木谷1620-1	竹原安芸津最終処分場	1995		○				○	32,000	150,000	88,055	4,614	2022	有	有	埋立中	能変	一部委託
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり						山間 22施設		477,937	5,706,919	2,056,791	100,457										
						平地 5施設		293,436	2,289,202	412,582	12,158										
						海面 1施設		184,000	1,003,010	0	5,448										
						計 28施設		955,373	8,999,131	2,469,373	118,063										

(参考) 表2-17 その他の施設(ごみの中間処理施設)及び処理実績等一覧表

施設番号	市町村事務組合名	所在地	施設名	使用開始年度	処理対象					公称能力 (t/日)	年間処理量 (t/年度)	処理内容			施設改廃等	運転管理体制	備考
					可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他			破碎	圧縮梱包	その他			
1	呉市	呉市川尻町水落1018番地	呉東部中継センター	2003	○	○		○		30.0	5,193			○	変無	直営	可燃ごみ圧縮施設
(注) 施設改廃等: 「建設」建設中, 「変無」能力変更なし, 「能変」能力変更あり					計 1施設					30.0	5,193						

## 7 資源化の状況

### (1) 資源化率及びリサイクル率

平成 23 年度の資源化率は 21.1%，リサイクル率は 23.3%で，前年度と比べてどちらも減少した。溶融スラグ量の減少が要因と考えられる

表 2-18 ごみ処理における資源化率及びリサイクル率の推移

年 度	19	20	21	22	23	全国平均 (平成 22 年度)
資源化率 (%)	21.7	21.4	21.7	22.1	21.1	16.8
リサイクル率 (%)	23.8	23.6	23.9	24.4	23.3	20.8
リサイクル率 (%) (ごみ燃料化量を除く)	16.4	16.0	16.4	16.5	15.2	21.2

- (注) 1 資源化率 (%) = (ごみ資源化量) / (ごみ処理量) × 100  
 2 リサイクル率 (%) = [(ごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100  
 3 リサイクル率 (ごみ燃料化量を除く) (%) = [(ごみ燃料化量を除いたごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100  
 4 県外分は含まない。

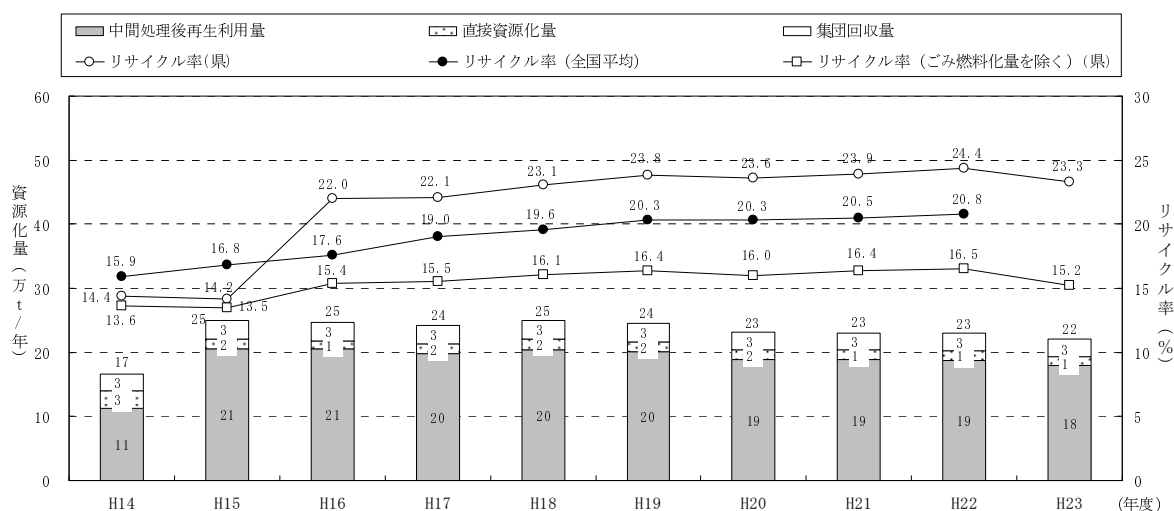


図 2-11 資源化量とリサイクル率の推移

### (2) 種類別資源化量

市町等により収集処理され資源化されたものの種類別資源化量は，表 2-19 のとおりである。

表 2-19 種類別資源化量

(単位：t/年)

紙	金属類	ガラス類	ペットボトル	容器包装プラスチック類	布 類	溶融スラグ	固形燃料	その他	計
32,619	18,314	15,352	4,271	25,244	3,867	5,329	76,269	12,868	194,133

(注) 「その他」には，肥料，焼却灰・飛灰のセメント原料化，BDF等

市町別の種類別資源化量及び一括データは，IV資料編の資料一表 12 及び表 13 に示すとおりである。